

各課紹介シリーズ

水道課

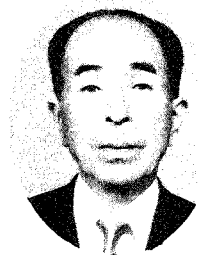
水道課では、市民の日常生活に欠くことのできない飲料水を各家庭に供給するとともに、営工業、学校、宮公署等における社会経済活動及び火災時の消防活動等広範囲の用途に必要な水量を安定供給しています。仕事の分担はつぎのとおりです。

■業務課

水道事業をスムーズに運営していくための営業計画、資産管理、業務統計、水道料金の調定、予算決算の調製、水道の開閉栓に関する業務を行う

教育委員長に

小林次郎氏



市教育委員会は十月十四日の定例委員会でこの度、任期満了となる益子亮委員長の後

つています。

■工務課

安定した水を供給できるよう水道施設の維持管理及び設計施行に関すること、また市民に一番密接な給水装置関係指定工事店の技術指導及び監督に関するを行っています。

■配水場係

水を安心して使用していただくために取水、配水施設の維持管理、配水記録、水質管理等を行っています。

■簡易水道係

簡易水道事業の維持管理業務および新設改良等の計画・執行、施設への助成、簡易水道組合運営の指導、予算決算の調製等簡易水道に関することを行っています。

任に小林次郎委員を選びました。また職務代理者には織田宗博委員を選出し、両氏は十一月九日から就任いたしました。小林氏は、明治四十四年十月七日四日市場に生れ東京赤坂中学校を卒業後農林水産省に勤務、退職後民生委員、人権擁護委員、市史編さん委員を歴任し、昭和五十年七月教育委員になりました。この間教育委員長に三度、就任しております。

(社)都留青年会議所

高齢者社会を 考える

公開討論会

(社)都留青年会議所主催のパネル討論会「高齢化社会とあなた」は十月二十七日、文化会館で市民約五十人が参加して開かれました。討論会では「高齢化対策問題は行政だけに頼るのではなく、市民、特に若い世代の人達が愛情をもって一緒に考えていく問題、



職業奉仕月間に

因んで功労者を表彰

都留ロータリークラブ

都留ロータリークラブ(会長 佐藤毅)は、去る十月三日社会福祉事業等に携わる功労者の表彰を行いました。

これは、当ロータリークラブの職業奉仕委員会が、ロータリーの職業奉仕月間(十月)に因み、市内の各事業所並びに福祉施設等において、地味な仕事に精進され、勤務・奉

仕されている五名の方々に佐藤会長から表彰状と記念品が贈られ、日頃の労をねぎらうと共に「これからも地域社会のためがんばって下さい」とのあいさつがありました。

受表彰者は次のとおりです。

。柴田喜夫(宝山寮)

。渡辺博子(ニチガイセラミックス株)

。志村光子(市社会福祉協議会)

。雨宮明子(円通保育園)

。梶本征子(回生堂病院)

敬称略(一)は勤務先

そして高齢化社会を暗いイメージでとらえることなく、明るい社会の実現に向けてお互い努力すべきである」とまとめました。

この公開討論会には、磯部正波都留医師会長、中村令吉都留福祉事務所長、樋泉重雄大月社会保険事務所長、佐藤忠英大鶴楽生園長の各氏がパネリストとして出席しました。

磯部氏は、老人性の痴呆症(ぼけ)を医学的観点から「ぼけを防ぐには、老人をできるだけ会話に参加させ、失敗等を怒らないなど家庭での愛情が大切」と説明。

樋泉氏は、来年四月から変わる年金制度を解説「今度の

改正は大改革です。骨子は、現行のままで年金制度はパンクする恐れがあるため、納付額、支給額を見返す。また、制度強化のために、若い人達の積極的な加入と理解が必要」と強調しました。

中村氏は「世界に類のないスピードで高齢化が進んでいる日本、その全国平均より十年も早いペースの山梨、高齢化に対する意識を深めて下さい。また、高齢者の再雇用、再教育が必要、在宅福祉も重要です」と話しました。

佐藤氏は、「お年寄りの方は、慰問を非常に楽しみにしている」と養護老人ホームの現状を話してくれました。